

SSI、BSI、VAP、UTIの4大院内感染にフォーカスし、幅広い製品群で感染源を「防いで(Protect)・見つけて(Detect)・減らす(Reduce)」ことにより医療安全と医療の質の向上に貢献いたします。

Product information

VAP予防のための「保湿からはじまる口腔ケア」

看護領域における口腔ケアは、口腔衛生、歯科疾患の予防を目的とした日常のケアから、摂食嚥下などの口腔機能の維持、回復を目的としたものに発展し、誤嚥性肺炎や人工呼吸器関連肺炎(VAP)の防止など、感染対策としても急速に関心が高まっています。^{*1} 3Mでは、クリティカルケア領域における感染防止対策のひとつとなる口腔ケアをサポートするため、保湿ジェルをケアの仕上げだけでなく日常のケアの中に取り入れることでケア中に生じる口腔内細菌の咽頭へのたれ込みを低減し、かつ口腔内を湿润環境に保つ「保湿からはじまる口腔ケア」を提供します。

*1(参考文献): 菊谷 武: 口腔ケアの基礎知識. 菊谷武 監修: 基礎から学ぶ口腔ケア, p.2-13, 学習研究社, 2007.

3M™ オプトレオース™ 口腔用保湿ジェル

口腔ケアおよび口腔内の保湿に常時使用するための製品設計です。

シンプルなジェル

- 毎日のケアにご使用いただけます。(常時の保湿が達成されます)
- 香料・甘味剤は添加していません。

なめらかなジェル

塗布しやすく回収が容易です。マッサージ時にもご使用いただけます。



パウチタイプ 5g入り(単回使用) チューブタイプ 60g入り

口腔化粧品 販売名: オプトレオース 口腔用ジェル

製品番号	仕様	入れ目	希望販売価格 (本体価格)	JANコード
OM-60	チューブタイプ 60g入り	1本/箱 10箱/中箱	¥2,520/箱 (¥2,400)	4987580166042
OM-5	パウチタイプ 5g入り	1包 48包/箱	¥252/包 (¥240)	4987580166059

3M™ オプトレオース™ 口腔用スポンジブラシ

「保湿からはじまる口腔ケア」を実現するために開発されたスポンジブラシです。

エッジの効いた、花形のスポンジデザイン

- 容易に残留物が除去可能な溝のあるデザイン。(回しながら使用すると効果的です)
- やわらかすぎずエッジの効いた固めのスポンジ。(かかと部分を使用すると効果的です)
- 柄からスポンジ部が外れにくい加工。

プラスチック製の長い柄

- 水に強く折れにくく丈夫で、適度な弾力がある柄。
- 口腔内の奥まで届く十分な長さ。

医療機器対象外

製品番号	仕様	入れ目	希望販売価格 (本体価格)	JANコード
OMSB-1	口腔用スポンジブラシ	1本/袋 30袋/中箱	¥52.5/袋 (¥50)	4987580166196



3M
オンラインストア
OPEN

3Mをもっと
知ってください。

この製品は当社のオンラインストアでもご購入いただけます。

3M オンラインストアURL <http://www.3monlinestore.jp/>

3M, Optreoz, オプトレオースは3M社の商標です。
Adobe, PhotoshopはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標又は登録商標です。

3M

スリーエムヘルスケア株式会社
医療用製品事業部

〒158-8583
東京都世田谷区玉川台2-33-1
<http://www.mmm.co.jp/hc/medical/>

Please Recycle. Printed in Japan
© 3M 2010. All rights reserved
HPM-429-C (041103) IT 58-0110

カスタマーコールセンター
製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで
0570-011-321
ナビダイヤル。市内通話料金でご利用いただけます。
受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝・年末年始は除く)
ナビダイヤルが繋がらない場合は、03-3709-8165をご利用ください。

2011年4月発行

3M Health Care Products

3M Times

05 Topics

Health Care

第37回日本集中治療医学会共催セミナーサマリー VAP予防とOral Health Care Unit

渡邊 裕 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学講座 講師

VAPの発生に関して

人工呼吸器装着中の患者は意識障害や鎮静、麻痺などによる運動機能の低下、脳の障害に伴う嚥下・咳反射の消失、さらに低栄養や易感染状態にあることが多い。

口腔内も乾燥し、さらに脳機能の低下と禁飲食のため、唾液が減少し口腔内の自浄性は低下する。さらに開口抑制や挿管チューブ、バイトブロックなどの障害物があるため口腔ケアが困難となり、口腔内の細菌の増殖、易損傷状態、抗菌剤使用による菌交代現象と、それに伴う真菌や院内感染菌の定着、増殖といった様々な問題が生じてくる。

また、咽頭、喉頭、気管・食道では嚥下、咳反射の低下、気道内の分泌能の低下、食道入口部の弛緩、胃管チューブの存在、蠕動運動の低下による胃食道逆流などの問題が生じる。さらに挿管チューブにより口腔・咽頭の分泌物や逆流した胃内容物が気管に侵入しやすい状態にある。

いっぽう肺炎はすべての院内感染の約15%で、ICUおよびCCUで発生する感染症のそれぞれ27%、24%を占め、病院関連細菌性肺炎を引き起こす最大の危険因子は気管挿管といわれている。人工呼吸器関連性肺炎(VAP: Ventilator associated pneumonia)は人工呼吸器装着後に生じる肺炎であり、この発症率は5~67%で、死亡率は24~76%であるといわれている。したがってVAPの予防は呼吸管理を行う上で重要な問題となっている。

VAPの感染経路のうちカフ上部の分泌物の気管へのたれ込み(Silent Aspiration)は口腔・咽頭で細菌の定着が起り、これが細菌塊(バイオフィルム)を形成する。特に菌や気管内挿管チューブの外壁にはバイオフィルムが形成されやすく、これに唾液、血液などが接触しバイオフィルム内の細菌が混入する。これら多量の細菌を含む唾液や血液がカフ上に貯留し、カフと気管壁との隙間から気管腔内へ漏出し、末梢気道へ流れ込み、生体が対処できない量の病原性細菌が播種されて、VAPは発症するといわれている。



Contents

Topics

- 第37回日本集中治療医学会共催セミナー
"VAP予防とOral Health Care Unit"
2010年3月4日(木曜日)リーガロイヤルホテル広島

Product information

- 3M™ オプトレオース™ 口腔ケア製品
- 3M™ オプトレオース™ 口腔用保湿ジェル
- 3M™ オプトレオース™ 口腔用スポンジブラシ

3M

VAP予防のための口腔ケア方法の検討

CDC(米国疾病予防管理センター)の医療関連肺炎予防のためのガイドライン2003では口腔衛生の包括的プログラムの構築と実施を勧告しているが、VAP予防のための口腔ケアの有用性に関するエビデンスレベルは低く、具体的な口腔ケア方法についても提示されていない。その理由は口腔内の細菌の定量的な評価が困難であること、また、重症患者では全身状態や口腔の状態だけでなく、VAP発生のリスク因子が多岐にわたっており、VAPの発生率や死亡率などを指標とする場合、大規模なコホート調査が必要となるからだとと思われる。そこで我々はVAP予防のための最適な口腔ケア方法を検索するために、口腔ケアの効果の簡便な定量的評価法を検討することとした。VAPが口腔内細菌や胃内容物のカフと気管壁との隙間から気管腔内への漏出により生じるとされていることから、カフの汚染に着目し、これを定量的に評価することを考えた。

我々はまず、歯科臨床で使用されている菌垢染色剤で、抜管後のカフについた汚れを染色し、デジタルカメラで撮影し、画像処理ソフト(Adobe®Photoshop®)で染色されたカフの面積比率を算出した(図1)。その結果、挿管期間が長いほどカフの汚染度が上がる傾向が認められた。挿管期間とVAPの発生率は相関しているとの報告もあり、カフの汚染はVAPの発生のリスクを評価する指標になると考えた(図2)。

そこで口腔ケア時の口腔内細菌の咽頭への飛沫やたれ込みを少なくする方法として我々が検討している、口腔用保湿ジェルを用いたケアの効果を検査した。その結果、口腔用保湿ジェルを用いたケアでは、通常の水を使用したケアに比較して有意にカフの汚染が少ないことが分かった(図3)。

図2) 挿管期間とカフの汚染

挿管時間が長くなるほど、カフは汚染される

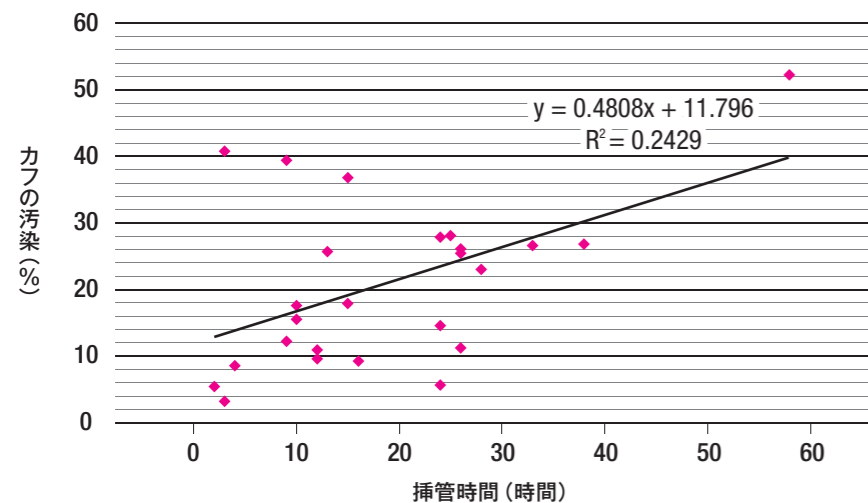


図1) カフの汚染
菌垢染色液にて染色されたカフ

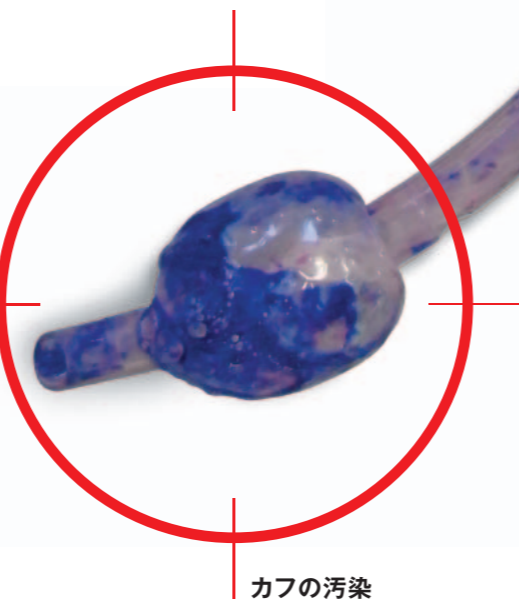
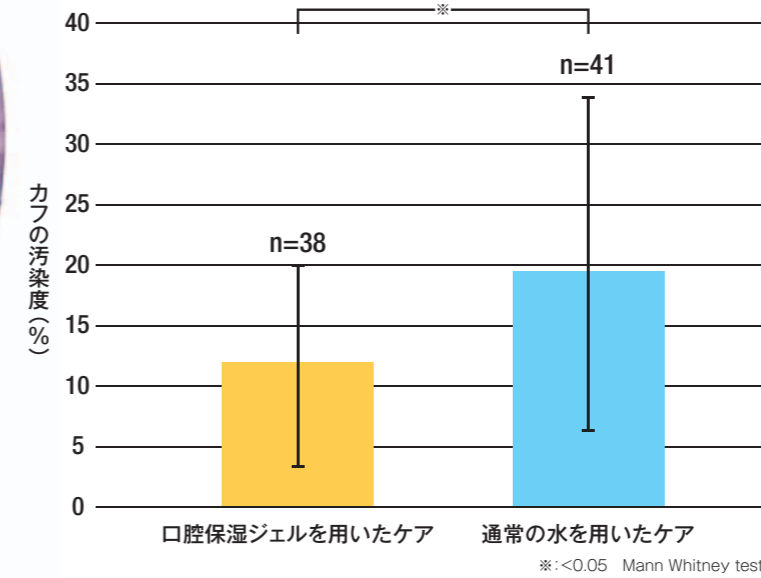


図3) 口腔用保湿ジェルを用いた口腔ケアの効果



挿管患者における口腔ケアでは吸引を行いながら水道水等を用いた口腔洗浄を行うことが多い。たれ込みを考慮して洗浄を行わない場合でも、歯ブラシやスポンジブラシは通常水分で湿らせて使用する。しかし、これらは水分を吸収するため、含まれた水分が口腔ケア時に咽頭に飛散し、たれ込んでいる可能性を否定できない。これを防ぐため、水分を絞ってケアを行うと、清掃性や効率が低下し、粘膜を障害する可能性も高くなる(図3)。

口腔用保湿ジェルは水道水等に比較して流動性が低く、これを口腔ケア時の清掃に使用することで、咽頭への飛沫やたれ込みを少なくすることができる。また潤滑剤の役割もあり、口腔咽頭粘膜を保護しながら硬い汚れを柔軟にして、落としやすくし口腔ケアの効率も改善する。また、開口状態で乾燥しやすい口腔内を保湿し、口腔内細菌叢を含め、口腔内環境を良好に保つ効果が期待できる。ただし、口腔用保湿ジェルが汚れや細菌を取り込むため、汚染されたジェルの回収性(口腔用保湿ジェルの粘度)も考慮して製品を選択する必要がある。



図3) 口腔ケア時の水分のたれ込み

VAP 予防のため口腔衛生の包括的プログラムの構築に向けて

現在、日本の急性期医療の現場では口腔ケアが気道感染予防など感染管理に位置づけられ、多くの施設で口腔ケアマニュアルが作成され、クリニカルパスに導入されたりしている。しかし、口腔ケアの方法、材料、用具、時間、回数など施設によって様々で、統一したプログラムは提示されていない。今回我々が提案した、口腔ケアの簡便な評価法は特別な機材は必要ではなく、どの施設においても行うことができる。

今後、この方法を用いて多くの施設で、VAP 予防のための様々な口腔ケア方法の検討がなされ、最終的に最良の口腔衛生の包括プログラムが構築されることを期待したい。